

令和2年1月31日

枚方市立蹠跽小学校
校長 位田 真由子

保護者の皆様

「令和元年度学校教育診断アンケート」の結果について

余寒の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、2学期末にご協力いただきました学校教育診断アンケートの結果をお知らせ致します。今回の診断結果をもとにこれからの学校運営を見直すとともに、児童への学習指導・生活指導を改善していきますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。また、結果報告が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

1. 調査用紙回収率

児童 99.4% (471名/474名)、保護者 91.1% (432名/474名)

2. 結果の概要と分析

* アンケートの回答における①「良く当てはまる」を『強肯定』、②「大体当てはまる」を『弱肯定』、③「余り当てはまらない」を『弱否定』、④「当てはまらない」を『強否定』としています。なお、保護者のみ、⑤「分からない」を選択肢として設定しています。

(1) 全体的な傾向に関して（児童・保護者・教員の共通項目について）

右の表の質問項目（児童、保護者、教員の共通質問項目）においては、三者とも、『肯定』（強肯定+弱肯定）が8割を超えており、概ね満足できる結果であるといえます。特に、「学校での授業はわかりやすい」の質問において、「良く当てはまる」と強肯定の回答した児童が7割以上いたことについては、日々の授業研

究の成果の表れだと考えています。しかし、一方で「先生には何でも相談できる」「学校には子どものことについて気軽に相談できる」と感じていない児童や保護者がそれぞれ1割以上いることについては、学校として重く受けとめる必要があると感じています。教職員がゆとりをもって児童や保護者に向き合える時間を確保できるよう、「働き方改革」の観点からも業務の効率化や行事の精選等を積極的に進めていかなければなりません。併せて、児童や保護者に寄り添いながらゆっくり話を聴くためのカウンセリングマインドを身に付けていくよう努めていきます。

		(右欄の数値は%です)	①	②	③	④	⑤
1	児童	学校に来るのが楽しい	65	28	4	2	-
	保護者	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている	55	38	4	3	-
	教員	子どもにとって楽しい学級経営（授業）を行っている	38	54	8	0	-
2	児童	学校での授業はわかりやすい	75	18	3	2	-
	保護者	先生は、わかりやすい授業づくりに努力している	50	42	3	1	3
	教員	子どもにとって分かりやすい授業を行っている	29	63	4	0	-
3	児童	先生には何でも相談できる	51	32	10	4	-
	保護者	学校には子どものことについて気軽に相談できる	29	53	11	2	3
	教員	児童の悩みや相談には親身になって応じている	38	58	0	0	-

(無回答や読み取り不可、四捨五入等により、合計が100%になっていない項目があります。)

(2) 児童のアンケート結果から（別紙参照）

①学習に関して

- 昨年度より若干下がってはいるものの、8割以上の児童が学習についての項目に肯定的な回答をしています。
- 今年度の新たな質問項目である Q11「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」、Q12「授業では、学級の友達との間で話し合う活動がよく行われている」では、約9割の児童が肯定的な回答をしており、主体的で対

話的な授業が行われていることが伺えます。

- 一方 Q8「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」の項目で肯定的な回答をした児童は、昨年度より 6 ポイント下がっていることから、授業のめあてに対して、わかったことやさらに学習したいことなどを振り返る時間を十分に確保していく必要があると考えています。
- 家庭学習については、Q14「家で計画を立てて勉強している」の質問に対して、約 7 割の児童が肯定的な回答を行っていますが、保護者への同様の質問(Q13)への肯定的な回答は約 4 割にとどまりました。学校では、引き続き「家庭学習のてびき」に則った学習方法や「自主学習ノート」の取り組みを指導していきますので、ご家庭でのご協力をよろしくお願いします。

②生活に関して

- Q2「規則をまもり、ひとに迷惑をかけないようにしている」、Q3「休み時間、友達と楽しく遊んでいる」の項目については、9 割以上の児童が肯定的な回答をしています。毎月の生活目標を児童朝会等において全員で確認したり、クラス遊びなどを通して皆で遊ぶ楽しさを実感していることが大きいと考えています。
- Q9「本を読むことが好き」の項目では、9 割近くの児童が肯定的な回答をしているものの、「余り当てはまらない」「当てはまらない」と答えた児童が 1 割以上いることが課題です。全ての児童が読書の楽しさに触れられるよう、保護者や地域の方々の協力も得ながら、読書活動の工夫を行っていきたいと考えています。

(3) 保護者の皆様のアンケート結果から

自由記述欄にはのべ 93 名の保護者の方にご意見をお書きいただきました。そのうち、28 名の方から、「よく様子を見ていただいて安心している。」「トラブルに対して真摯に取り組んでいただいて安心感がある。」「参観でとても工夫して授業を構築してくださっていることがわかった。」など担任や学校へのねぎらいの

言葉を頂いています。教職員にとっても励みになります。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

一方では改善すべき事項も多々ご指摘頂きました。それらについては、出来るところから早期に対応を考えて参りますので、よろしくご意見致します。(以下はその一部です。ご記名いただいたものには、各担任から直接回答させていただいたものもあります。)

① 【施設設備について】

自由記述欄にご記入頂いたご要望で、毎年、最も多いものが「トイレの改修」についてです。枚方市では計画的な改修に取り組んでおり、本校においても、ようやく来年度の夏頃、トイレ改修の予定があると市教育委員会から聞いています。詳細については、改めてお知らせいたします。

また、体育館へのトイレ設置やプールの更衣室の改修についてもご要望がありましたので、市教育委員会に引き続き要望していきます。

② 【授業参観について】

「働いている親としては、平日に行われるイベント(参観、懇談など)についてもう少し抱き合わせにするなど頻度を減らしてほしい。」とのご意見がありました。現在、参観日(運動会を含む)は年間 7 回あります。今年度については 1 か月の内に 2 回来校していただく月もあり、保護者の方にはご負担をおかけしています。実施回数等については、次年度に向け、精査していくよう検討します。

授業参観の内容について、「英語や道徳の授業を見てみたい。」「低学年も音楽会をしてほしい。」とのご意見がありました。英語については、来年度から 5・6 年生において教科化されますので、JTE(英語教育指導助手)と担任が連携した授業を積極的に公開していきたいと思っております。道徳については、参観日に各クラス毎年 1 回以上公開することにしていきますので、どうぞご覧いただき、ご家庭でも道徳についてお話しただけたらと思っております。また、低学年の音楽についても、参観日等で発表する機会を設けていますので、ご覧ください。

③ 【学級便りについて】

毎年「学級便りを出してほしい。」というご意見をいただいています。学級便りは、各担任の学級経営の方針やクラスの様子を保護者の皆様に伝える一つの手段として、有意義なものと考えます。一方、教員が最も大切にしなければならないのは、日々の授業や児童の教育活動です。そのための準備に、毎日多くの時間を費やしている状況ですので、学級便りを頻繁に発行するのは難しいですが、可能な限り、発行できるよう教員の仕事全体の効率化を引き続き図っていく必要があると考えています。担任の方針やクラスの様子については、学級懇談会の時間を活用してお伝えしていくとともに、「さだっ子だより」の発行も頻繁に行えるよう努めていきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。また、ホームページにも、行事予定のほか、学校の様子も可能な限り頻繁に掲載するようにしていますので、ぜひご覧ください。

④ 【授業について】

「同じ学習なのに、クラスによって教材が違い、子どもの理解に差がつかないか。」「同じ学年であっても、担任によって授業の方針等が全く違い、1年間で子どもが身に付ける学習内容等に大きく差がつくのでは。」「ストップウォッチを使い、さながら塾のような授業と感じた。」などの声がありました。授業については、担任一人一人が責任をもって、自分の個性を生かしながら指導方法の工夫を行っていくことが大切だと考えています。併せて、学校全体として校内研究に力を入れ、全教員が授業改善に取り組んでいます。今後も子どもたちに付けたい力は何なのかということをしっかり共有し、教材や指導方法について共同研究を進め、よりよい授業をめざします。

⑤ 【安全対策について】

児童への安全指導として、有害玩具についてや体感型の学習を取り入れてほしいのご意見がありました。現在も児童の発達段階に応じて、警察や消防署等関係機関の方をゲストティーチャーとして招くなどしながら安全指導を行っていますが、今後も本校の課題に合わせて、安全学習を充実していきます。

また、「留守家庭児童会の迎え時に裏門が開いたままになっている。」とのお声をいただきました。授業終了後は施設開放で運動場や体育館を利用される方がいらっしゃると思いますので、裏門の管理への注意喚起を行っていきます。

⑥ 【校外学習、修学旅行について】

「校外学習先としてテーマパークや大型児童館等の施設に偏りがちではないか」というご意見がありました。また、5年生の秋の校外学習の日程が見学先の工場の都合で2度延期となり、3学期になってしまったことについて、体調面等のご心配の声がありました。行先については、毎年、各学年の児童の体力や学習内容、安全、費用、雨天決行が可能か等の様々な条件を総合的に判断して決めています。今回のご意見も参考にしながら、次年度の行先等について検討していきます。

「修学旅行から帰ってきて次の日の登校時間を3時間目からにしてほしい。」とのご意見がありました。現在市内で修学旅行翌日の授業を午前のみに行っている学校は2～3割程度しかなく、ほとんどの学校が登下校とも通常通りとなっています。登校班としての安全確保や規則正しい生活リズムを保つためにも現状の形が望ましいと考えています。

⑦ 【教員の姿勢について】

「教員の服装や児童への接し方が普段と参観日では違う。」「保護者が多くいる場でも教員同士がワイワイと私語をしている。」「教員の振る舞いや言葉遣いが気になる。」等のご指摘をいただきました。教育委員会はもとより、校内においても度々研修を実施しているところですが、改めて児童や保護者からの信頼を失うことのないよう、教職員それぞれが自らの言動について考えて行動するようにします。

⑧ 【配布物について】

「プリント（お知らせ等）が多い、内容が重複している、ホームページを活用してはどうか。」とのご意見がありました。特に保護者への協力を求めることが

書かれた配布物については、伝達漏れを防ぐ必要があるため、敢えて複数回配布している場合がありますが、内容を精査していくよう検討します。

組みでは実現が難しいと考えます。コミュニティスクールの学校運営協議会やPTAの皆様のご意見もいただきながら、検討していきたいと思ひます。

⑨ 【蹉跎小ハンドブックについて】

今回、アンケートの中に、来年度から紙媒体での発行を無くし、ホームページのみの掲載とすることについて伺ったところ、のべ32名の方からご意見をいただきました。そのうち、「ペーパーレス化は社会の潮流から必然だと思う。」「手紙が多すぎるのでメールやWEB対応は賛成。」「良い取り組みだと思う。」等、賛成のご意見の方が18名、「変更点を知らせてくれればよい。」「希望者には紙媒体で配布してはどうか。」等の条件付きで賛成いただいた方が8名、「紙の方が確認しやすい。」等、反対のご意見の方が5名いらっしゃいました。

これらのご意見を踏まえ、来年度は試行的に紙媒体での配布を無くしますが、各ご家庭で印刷しやすいようにPDF化したうえで、ホームページでの掲載を行いたいと考えています。また、大きな変更点があった場合は、その都度お知らせすることとし、これまで通り、新入生や転入生には紙媒体で配布するとともに、ご家庭でホームページが閲覧できない等の理由から紙媒体をご希望される場合は、引き続き紙での配布を行いたいと思ひます。

その他「メール配信にはならないのか。」とのご意見もいただきましたが、現在使用しているミルメールのシステムは緊急時の連絡を目的に運用されていることから、添付機能は付いていません。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

⑩ 【その他】

「漢字検定を学校で受けることができたらよい。」「陸上競技大会や駅伝大会の時、学校のTシャツがあればよい。」「本など、学校のみならず共有する物を大事に扱うことをもっと指導する必要があるのではないか。(先生からだけでなく保護者からも)。」「PTAのお祭りを秋から夏に戻してほしい。縮小しすぎと思った。」「動物がいないのでみんなで生き物を飼うのもよい。」等のご意見がありました。

これらのご意見については、人員面、予算面等からも学校の教職員だけの取り

上記事項のほかにも様々なご要望やご意見を頂いております。学校として適切な対応に努めて参りますので、今後とも、本校の教育活動へのご理解・ご支援の程、宜しくお願い致します。

